

響

Hibiki

心と体に やさしくひびく東洋療法

公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会
広報誌

Daishinshikai Journal 2024

Hibiki vol.14

大阪・関西万博まであと1年 TEAM EXPO 2025へ参加

顔面神経麻痺診療ガイドライン 2023年版からみる鍼灸の現状と可能性 ～ 鍼治療のエビデンスとその役割 ～

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部

鍼灸健康学科 教授 粕谷 大智さん



令和5年 府民公開講座にて
共創チャレンジメンバーとしての取組みを紹介



- 令和5年度 第15回 府民公開講座
- 鍼灸文献データベース (JACLID) が公開されました

Acupuncturist Pickup

関西医療大学 はり灸・スポーツトレーナー学科

助教 池藤 仁美さん

- 鍼灸マッサージ施術所におけるマイナ保険証の
オンライン資格確認 (令和6年4月スタート!)
- 大阪府鍼灸マッサージ師会からのお知らせ

発行 公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会

大阪市阿倍野区昭和町2-10-5 TEL 06-6624-3331 <https://osmk.osaka.jp>

いっしょに、いこな！
大阪・関西万博



大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、150を超える世界の国々が半年間の長きにわたり、ここ大阪で一堂に会し、人類が直面する地球規模の課題解決やSDGs達成に貢献する国家プロジェクトです。

会場となる夢洲では、各国の先端技術やサービスなどが出展されます。次世代を担う子どもたちがこうした出展を直接体験することで、新しい未来社会を創る世代が生まれ、日本全体の成長・発展のみならず、世界の課題解決にも結びついていくと考えています。

中でも大阪府・市が、産学官民一体で出展する「大阪ヘルスケアパビリオン」では、来場者のパーソナルデータをもとに作成した2050年の自分に出会い、ミライの都市生活体験を通じて、子どもから大人まで「REBORN」を感じ、驚きや新たな発見を味わえる展示体験としていきます。

2025年、世界中から訪れる皆さんに次の未来をお示しし、驚きと感動を与える万博となるよう、引き続き、国や博覧会協会と連携して取り組んでまいります。

大阪府知事 吉村 洋文



2025年の大阪・関西万博の開幕まで、今年はいよいよ1年前を迎えます。会場となる夢洲では、昨年4月以降、会場のシンボルとなる大屋根・リングの整備やパビリオンの建設などが鋭意進められており、これからはより具体的な万博の姿をご覧いただけるようになります。

地元自治体である大阪市としても、万全の状態世界中の皆さんをお迎えできるよう、会場アクセス等の整備を着実に推進するとともに、会場建設や海外パビリオンの建設促進に向けた施工環境改善の取り組みを進めています。

本年4月には開幕1年前を迎え、今秋には来場日時予約も始まるなど、いよいよ万博が近づいてきます。着実に進む準備状況やパビリオンの展示内容、会場内で行われる催事など具体的な万博の内容を、博覧会協会等と連携し、国内外にしっかり発信することで、万博に対する期待感やワクワク感を高めていきたいと考えます。

多くの人々に万博に行ってみたいと思っていただけるよう、引き続き関係機関と連携しながら、全力を尽くして取り組んでいきます。2025年大阪・関西万博にご期待ください。

大阪市長 横山 英幸



MEET ME AT
EXPO 2025!

大阪府鍼灸マッサージ師会は、「東洋療法で健康に！」の取り組みで 大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」に参加しています

私たちは、東洋療法を通じ、府民の皆さまの健康を願い、身近にできることから、大阪・関西万博を盛り上げていきたいと考えています。

私たちが日々行っている、はり・きゅう・マッサージは、腰痛・肩こり等の症状や疲労回復に対する施術のみならず、鍼灸においては慢性疼痛ガイドラインや頭痛の診療、顔面神経麻痺診療のガイドラインに掲載されるなど、エビデンスの構築が徐々に進んできています。

また、医師の同意のもと健康保険取扱いにて行う要介護者への医療マッサージは非常にニーズが高く、多職種と連携し、疼痛緩和やADL改善・維持に貢献しています。さらに近年は女性の健康課題に対するケア（フェムテック）に対しても組織的な取り組みを始めており、従来からも公益事業として府民公開講座や研修会、体験ボランティア、健康相談事業などを定期的に行なっています。

SDGsについて、私たちは ③「すべての人に健康と福祉を」、⑧「働きがいも経済成長も」の課題に関わっています。この活動については、会員、非会員を問わず、当会の目的に賛同される、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の皆様や高齢者・女性の健康に関する活動に協力いただける企業、自治体の皆様と共に、普及啓発、広報活動をさらに行っていきます。

大阪で万博が開催されるこの機会に、幅広い世代の方が毎日健康で楽しく過ごせる社会の実現を共創チャレンジの目標として掲げ、一丸となって皆様の健康課題に取り組んでまいります。



公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会会長 廣野 敏明



令和5年度 第15回 府民公開講座



2023年11月26日、都シティ大阪天王寺に於いて大阪府鍼灸マッサージ師会主催の「府民公開講座」を開催。

第1講座は、森ノ宮医療大学 長野仁教授による「鍼の聖地OSAKA 500年の歴史に学ぶ # つぼパワー!!」。日本最古の医学書「医心方」は、平安時代中期、鍼灸は当時外科的な治療が中心だったものが、安土桃山時代の終わり頃、多くの弟子に「打鍼」を広めたのが摂津の国で生まれた御園意斎(みそのいさい)。鍼が外科以外の病に使用されることが多くなったことから、大阪は日本の鍼治療の起点だったのではないかと、という大阪人にとっては嬉しい歴史を紹介いただくなど、鍼灸の歴史についてさまざまな視点から解説いただいた。

第2講座は、大阪府万博推進局 総務企画部 企画課長 川崎泰稔氏から、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪・関西万博の進捗状況と見どころについて紹介。引き続き、当会廣野会長からは、「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジメンバーとしての取り組みについて紹介された。



いのち輝く未来社会のデザイン

コンセプトは未来社会の実験場

～ 次世代の心に残る体験ができる万博に ～

開催期間：2025年4月13日(日)～10月13日(月) 開催場所：大阪 夢洲(ゆめしま)

万博の歴史は人類発展の歴史そのもの。近代人類の進歩は、万博とともにあるといっても過言ではありません。1970年の大阪万博では、携帯電話や動く歩道(エスカレーター)、自動改札機などが展示。万博をきっかけに、多くの優れた製品・芸術が生まれ、時代を変えてきました。推進局の業務に携わるようになり、当時の万博に参加された多くの方から、とても印象に残っているとの話を伺い、人々の心に残り、その方々の将来に影響を与えるようなイベントだと感じています。

大阪・関西万博が、どんな未来社会のテーマを予定しているのか、未来社会の実験場として、万博会場全体を未来社会のショーケースに見立て、先進的な技術やシステムを取り入れ、未来社会の一端を表現することをめざし、スマートモビリティ事業(来場者向けEVバス、空飛ぶクルマ)、デジタル万博(来場者向けパーソナルエージェント、自動翻訳)、バーチャル万博(大阪・関西万博バーチャル会場)、アート万博(ウォータープラザ水上ショー)などを含めた、6つの未来社会ショーケース事業に取り組んでいます。会場の大きなリングの中心には、いのちに関する8つのテーマ事業パビリオンがあり、それを囲んで各国のパビリオン、リングの外側には民間企業(13)、大阪ヘルスケアパビリオンを含む日本のパビリオンが展示されます。

特に、大阪ヘルスケアパビリオンでは、来場者のパーソナルヘルスレコード(PHR:個人の健康等に関する情報)から25年後(2050年)はどうなっているか、アバターを作成。ミライのフードやヘルスケア体験を提案し、それによりどう変化していくかを紹介し、また体験により生まれ変わった自分が2050年頃にどのような都市生活になっているかを体験していただける展示構成となっていますので、是非、皆様にも一度体験していただきたいです。

皆様をはじめ、次の子供たちを含め、多くの世代の方たちに次の万博を経験していただいて、またそこで何か得るものにより、自分の将来に繋がっていく、そういう形で残していけるような万博になればと願っています。

EXPO 2025 大阪・関西万博
公式Webサイト
<https://www.expo2025.or.jp/>



大阪・関西万博
チケットインフォメーション
<https://www.expo2025.or.jp/tickets-index/>





顔面神経麻痺診療ガイドライン

2023年版からみる鍼灸の現状と可能性

～ 鍼治療のエビデンスとその役割 ～

新潟医療福祉大学リハビリテーション学部鍼灸健康学科

教授 粕谷 大智

人間総合科学大学・大学院、国際鍼灸専門学校、筑波大学理療科教員養成を経て、1987年から東京大学医学部附属病院内科物理療法学教室(物療内科)、アレルギー・リウマチ科、リハビリテーション部にて2022年まで勤務。2018年より宝塚医療大学客員教授、東京有明医療大学、筑波大学理療科教員養成、東京医療専門学校教員養成科、国際鍼灸専門学校非常勤講師を務める。2022年から、現職の新潟医療福祉大学リハビリテーション学部教授に就任。日本顔面神経学会学術委員、広報委員、認定委員、リハビリテーション認定指導士、顔面神経麻痺診療ガイドライン2023年版のガイドライン作成委員を務める。

I. はじめに

末梢性顔面神経麻痺(以下麻痺)に対する鍼灸治療は、比較的治療頻度が多い疾患であり、多くの鍼灸治療院ホームページでも得意症状として挙げられています。しかし、医療従事者の間では、何を目的に治療をしているか不明、スタンダードな治療が無い(治療者により治療法や治療頻度など対応は様々)、逆に悪化したといったマインスイメージを持たれている医療従事者は多く¹⁾、顔面神経麻痺診療の手引き(2011年)では、「鍼灸」はC2で「鍼灸治療の有効性は現時点で立証されていない」とされ、「低周波通電」ではDで「神経筋電気刺激(低周波治療)は有害である」とされ、医療者の間では鍼灸は効果が期待できないとの認識でありました²⁾。

しかし2023年版の顔面神経麻痺診療ガイドラインでは、鍼灸治療は急性期、慢性期とも「弱く推奨する」と変更されました³⁾。そのような現状の中、麻痺に対する鍼灸の役割やセルフケアの指導も含めた鍼灸師としての関わり方を専門医や医療従事者に伝え、医療連携を行

い麻痺患者のQOLサポーターとして関与していくことが大切であると考えています。

本稿では麻痺に対する鍼灸治療のエビデンスとその役割について、また私自身が日本顔面神経学会の広報委員、認定委員、学術委員としてガイドライン作成委員を拝命している関係から、今後の医学会における鍼灸の動向についても述べます。

II. 鍼治療のエビデンス

(1) Systematic Review の結果³⁾

過去の Systematic Review (SR) や Randomized controlled trial (RCT) の結果では、2010年に Bell 麻痺を対象とした Cochrane Review があり、また Cochrane Review 以外の SR も発表があります。今回のガイドライン作成にあたり、SR の実施に当たり PubMed、医学中央雑誌をデータベース全期間対象に検索を行うとともに、既存の Review の組入論文、除外論文 (Full screening 対象) をスクリーニング対象としてシステマティックレ

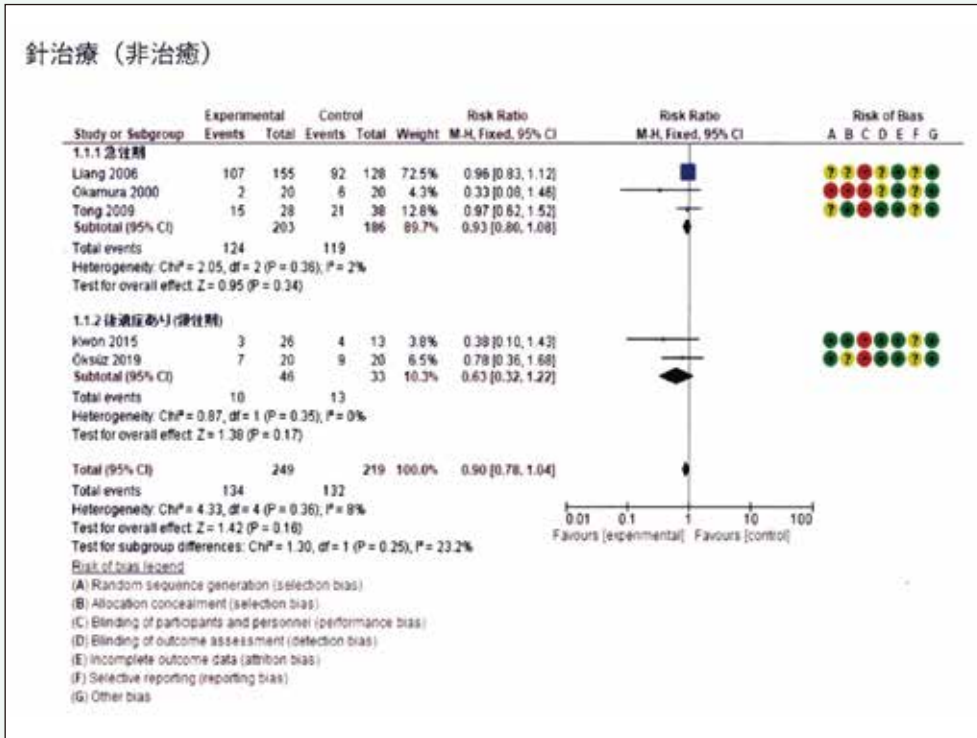


図1 メタ解析の結果

上段は急性期、下段は後遺症に対する結果であり、control と比べ一定の効果が認められる

ビューを実施しました。その結果を図1に示します。上段の急性期に対する鍼治療のエビデンスについては、ブラインドされていない影響やRCTの質が低いことにより効果を過大に示している可能性や、Publication

bias の影響が懸念されました。なお国内からRCTが Facial Nerve Research に報告されており有効性が示唆されており⁴⁾、今回のガイドライン²⁰²³年ではエビデンスの強さは弱いものの「弱く推奨」すると結論され、麻痺の治療手段の

推奨	推奨の強さ	エビデンスの確実性
末梢性顔面神経麻痺 (Bell麻痺、Hunt症候群、外傷性麻痺) 患者へ顔面神経麻痺治癒のため、急性期に鍼治療を行うことを弱く推奨する [投票合意率: 100.0% (14/14)]	弱い	⊕⊕⊕⊕
後遺症が出現したら慢性期の顔面神経麻痺 (Bell麻痺、Hunt症候群、外傷性麻痺) 患者に対し、鍼治療を行うことを弱く推奨する。 [投票合意率: 100.0% (14/14)]	弱い	⊕⊕⊕⊕

表1

末梢性顔面神経麻痺 (Bell 麻痺、Hunt 症候群、外傷性麻痺) に鍼治療は有効か?については、急性期の麻痺の回復と慢性期の後遺症の軽減について“弱く推奨する”とされている

一つとして掲載されています。また、下段の後遺症に対する鍼治療に関しては、後遺症のある患者に対するRCTは韓国とトルコから出版されており、ブラインドでのアウトカム評価が実施されるなど質の高いRCTでありまし

た。後遺症のこわばり感やつっぱり感などに対して緩和が期待できることが示唆されています。これらの内容をガイドライン作成委員会で検討した結果、2023年度版の Clinical Question (CQ) では、①鍼灸は麻痺の早期回復に効果はあるのか? ②鍼灸は後遺症の症状を軽減させる効果があるのか?の2つとなり、両者とも“弱く推奨する”と大きく変更されました。2011年版が“推奨しない”とされていたので、これは大きな前進と考えます(表1)。その背景にはSRが多く発表されてきたこともありますが、その大半が中国からの論文でブラインド化されていないことや、RCTの質の問題も指摘されており、効果を過大に見積もっている可能性もあることも念頭に入れておく必要があります。しかし後遺症に対する鍼治療に関しては、後遺症のある患者に対するRCTは韓国とトルコから出版されており、ブラインドでのアウトカム評価が実施されるなど質の高いRCTでありました。したがって後遺症のこわばり感やつっぱり感などに対して緩和が期待できることが示唆されています。

1995～2022年

報告者 発表年代		研究デザイン	介入時期	治療法	アウトカム	結果
中村真理 2020 ⁵⁾	Facial Nerve Research Japan	症例集積	1年以上	置鍼	柳原法 Sunnybrook法	後遺症の軽減
林健太郎 2019 ⁶⁾	全日鍼灸学会誌	症例報告	発症6か月	置鍼、マッサージ	柳原法 FaCEスケール	後遺症を軽減、セルフケアの重要性
柏谷大智 2017 ⁷⁾	Facial Nerve Research Japan	症例集積 13例	発症6か月	置鍼、マッサージ	柳原法 FaCEスケール Sunnybrook法	後遺症（特に感覚）を軽減
山口智子 2017 ⁸⁾	現代鍼灸	症例集積 52例	6か月以降	置鍼・低周波通電	柳原法 Electroneurography	通電より置鍼の方が後遺症軽減が認められた
新井千枝子 2011 ⁹⁾	現代鍼灸	症例集積 18例	6か月～1年	100Hz間欠波交互通電	柳原法 近大式後遺症スコア	病的共同運動の軽減
森戸麻美 2003 ¹⁰⁾	全日鍼灸学会誌	症例報告	発症2年	顔面神経の通電療法	柳原法 サーモグラフィ	皮膚温の上昇に伴い、ワニの涙目の軽減
岡田富広 2005 ¹¹⁾	全日鍼灸学会誌	症例報告	発症10か月	100Hz間欠波交互通電	柳原法 visual analogue scale 筋電図振幅	100Hz間欠波交互通電により、病的共同運動の軽減と筋電図残存持続時間を改善した
岡村由美子 1996 ¹²⁾	Progress in Medicine	症例集積	発症6か月	100Hz間欠波交互通電	柳原法	後遺症の軽減

9) 栢森良二, 他. 末梢性顔面神経麻痺に対する鍼灸治療の効果と現状. 全日鍼灸学会誌. 2023; 73(1):7-25.より引用

表2 本邦の後遺症に対する鍼治療の報告

Sunnybrook 法や FaCE スケールなどの評価法を用いて、後遺症の軽減について報告している
しかし、すべて症例報告か集積であり、RCTのような比較試験は無くエビデンスは低い

(2)後遺症の予防・軽減について(本邦の報告)

麻痺の後遺症に対する主な鍼治療の報告を表2に示します。麻痺で後遺症を有する患者のQOLを低下させる因子として、随意運動の回復以外に顔面の感覚、すなわち顔面のこわばり感や鈍重感に代表されるような痛み、顔面の疲労感などが重要な因子との報告は多く、顔面の感覚の症状を軽減させる Quality of life (QOL) が向上することが報告されています^{5), 8)}。この顔面の感覚を軽減させる医療手段は極めて限られている中で、鍼治療の報告では、後遺症の軽減、特に顔面のこわばり感や疲労感の軽減を報告しています⁸⁾。

評価法は主に先に挙げた Sunnybrook 法や Facial Clinimetric Evaluation Scale (FaCE scale) 等を用いていますが、ほとんどが症例報告や症例集積でありエビデンスとしては低いのが現状です。しかし、鍼の臨床や研究において、麻痺QOL特異的尺度である FaCE scale 等を用いて鍼治療介入後の変化について検討すること

は、患者を苦しめる後遺症である、こわばりや痛み、疲労感など顔面の感覚の改善を期待できる可能性もあり鍼の臨床研究が待たれます。今後は、鍼治療に関しても麻痺QOL特異的尺度である FaCE scale を用いて鍼治療介入後の変化について検討し、こわばりや痛み、疲労感などの感覚に対する鍼灸の臨床研究が待たれるところです。

Ⅲ. 鍼治療の実際と目的

一般的に鍼治療は、表情筋の血行改善や神経の回復促進、後遺症を認める場合は拘縮軽減を目的として治療を行っています。治療部位は表情筋(大・小頬骨筋、上唇挙筋、笑筋、口角下制筋など)上の経穴にす¹⁾02番(太さ0.12mm、長さ30mm)で5～10mmほど留置する治療や、頬骨弓の下縁部の顔面神経近傍の経穴(下関穴)に刺激を行っています(図2)。刺入深度からすると、角質層よりも深部で基底層やその下の真皮、皮下組織への刺激となり、付随する首肩のこり感や頭痛などの不定愁訴に対して痛みの局所や手足の末梢部

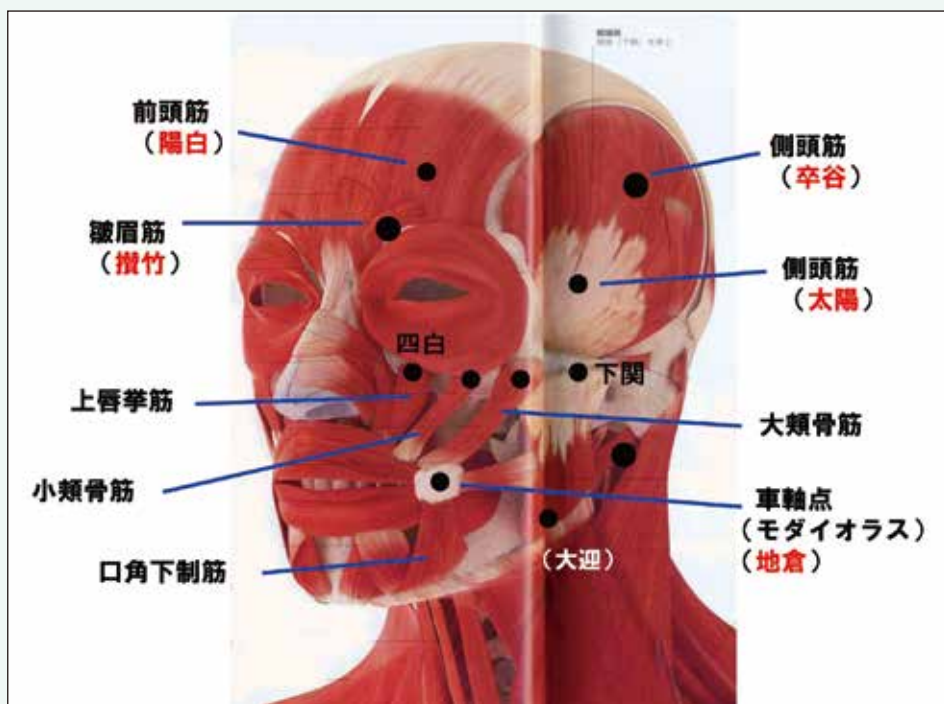


図2 一般的な鍼治療部位

顔面部の血流促進や筋肉のこわばりを緩和する目的で、髪の毛ほどの太さの細い鍼 (0.12 ~ 0.14mm) を用いて治療

の施術も行っているのが現状です。手足末梢の刺激は体性感覚神経の反射により顔面部の血流を促進することの報告も多く、脳機能への影響についても報告があります。一般的に鍼治療の目的は、治療後セルフケアを円滑に行えるこ

とを重視し、①個々の表情筋の拘縮を軽減、②顔面の血流の促進、③突っ張りや痛みを軽減、④頸から肩のこり感や違和感などの不定愁訴の軽減を図り、治療直後に顔面が軽くなる、リラククス感を出すことが重要と考えます。

IV・顔面神経麻痺に対する鍼灸の現状と課題

麻痺の鍼治療の目的は、自然経過が存在する麻痺において回復の促進よりも病的共同運動や拘縮の予防・軽減が鍼の役割であり、エビデンスレベルでは後遺症のこわばり感やつっぱり感などに対して緩和が期待できることが示唆されています。

現在、専門医師には鍼灸に対する意識調査や連携について、鍼灸師に対しては麻痺に対する意識調査や連携についてのアンケート調査を実施予定であり、その結果を教育や研究、医療連携などに反映できるように努めていく予定です。

そして今後は鍼灸師も医療機関との連携を密にしながら病期の程度を把握し、共通の評価法を用いて、病期に応じたセルフケアの指導も鍼灸治療と併せて行うことが大事であり、日本顔面神経学会で開催しているリハビリテーション技術講習会等の参加でスキルアップを図り、鍼の臨床研究では専門医と共同で、先に挙げた病的共同運動や拘縮（後遺症）の予防・軽減に対して鍼の役割を提示できる

スタディが重要と考えます。

参考文献

- 鈴木淳、小林俊光、顔面神経麻痺に関するインターネット上の情報の問題点、日耳鼻、2010；113:844-850.
- 日本顔面神経学会、顔面神経麻痺診療の手引き、日本顔面神経研究会編、金原出版、2011.P
- 顔面神経麻痺診療ガイドライン 2023 年版、日本顔面神経学会編、金原出版、2023.P
- 岡村由美子、他：病的共同運動に対する針治療、Prog Med. 1996；16：2234-6.
- 飴矢美里、羽藤直人ほか：患者アンケートを用いた顔面神経麻痺後遺症に対するリハビリテーションの効果検討、Facial N Res Jpn. 2009;29：124-6.
- 立花慶太、他：顔面神経麻痺患者の QOL 帰結に関わる因子の検討、Facial N Res Jpn. 2012;32：143-5.
- 立花慶太、他：顔面神経麻痺患者の満足度に関わる因子の検討、Facial N Res Jpn. 2013;33：163-5.
- 栢森良二：顔面神経麻痺リハビリテーションの新しい展開、日耳鼻、2014;117：86-95.
- 栢森良二、堀部豪、粕谷大智、末梢性顔面神経麻痺に対する鍼灸治療の効果と現状、全日本鍼灸学会誌、2023;73(1):7-25.

鍼灸文献データベース (JACLID) (Japanese Acupuncture Comprehensive Literature Database) が 全日本鍼灸学会ホームページに公開されました

JACLID(ジャクリッド) は主として日本国内の鍼灸学術論文の書誌情報を収載したデータベースです。

医中誌 WebやPubMedには収載されていない古い論文や灰色文献(通常の商業出版ルートで入手が困難な文献)の書誌情報も含んでいます。系統的に一定のテーマに関する論文を検索するにあたっては医中誌 WebとPubMedを用いることが前提ですが、さらに補足的・網羅的に文献を探索したい場合に有用な文献リストです。

(2019年以降の更新はありません)

全日本鍼灸学会ホームページ 鍼灸文献データベース (JACLID)

<https://jsam.jp/jaclid/>



※ 全日本鍼灸学会ホームページ内で、以下の鍼灸関連文献サイトも紹介されていますので、ぜひご覧ください。

その他、鍼灸関連学術情報が閲覧または検索できるサイト

- ◎ 日本鍼灸エビデンスレポート (EJAM) (厚生労働省『「統合医療」に係る情報発信等推進事業』)
- ◎ 森ノ宮医療大学鍼灸情報センター (MUMSAIC)
- ◎ 鍼灸論考 (鍼灸 net-国民のための鍼灸医療推進機構 (AcuPOPJ))
- ◎ 医中誌 Web (有料)
- ◎ Google Scholar
- ◎ PubMed
- ◎ コクランライブラリー (本文は有料)
- ◎ CiNii Research
- ◎ J-STAGE

鍼灸関連史料が閲覧できるサイト

- ◎ 国立国会図書館 デジタルコレクション
- ◎ 国立国会図書館 次世代デジタルライブラリー
- ◎ 国文学研究資料館 日本古典籍総合目録データベース
- ◎ 早稲田大学図書館 古典籍総合データベース
- ◎ 北里大学東洋医学総合研究所 医史学研究部 漢方テキスト複合検索データベース

臨床と教育分野ではたらく
鍼灸師の活動をピックアップ



関西医療大学 保健医療学部
はり灸・スポーツトレーナー学科
助教 池藤 仁美さん

学生の意欲を引き出す鍼灸教育 ITを活用し効率よく学べる環境づくり

ITを活用した鍼灸教育の開発に取り組む

女性鍼灸師 池藤仁美さんをインタビュー

鍼灸師をめざしたきっかけは

高校生の時に交通事故でむち打ちになったことがあり、鍼灸へ通っていたことや、東洋医学に興味があったことから、鍼灸師を目指すようになりしました。資格を取得後、当初は施術所の開業を目指していましたが、卒業後研修先として、筑波大学理療科教員養成施設の理療研修生として3年間学び、そこで後輩の指導を行ったことがきっかけとなり、教員への道へ進むことになりました。

どのような研究をされていますか

普段の授業で担当しているのは東洋医学総論と経穴学ですが、教育現場でITを用い学生の自主性を引き出

す授業や教育方法の開発を行っています。基本的には、以前からムードル (Moodle) という、ラーニングマネジメントシステム (LMS) を使って国家試験問題やその他の課題を提出してもらっていますが、Google クラウドルーム (Google classroom) とエドパズル (Edpuzzle) を連携活用し、動画コンテンツの視聴状況や内容を理解しているかどうか課題を差し込んで学生の到達度を確認するなど、教育方法に工夫を凝らしています。

その他、鍼灸治療が患者の心身へどのように影響しているかについてや、鍼灸刺激が皮膚にどのように影響しているかについて研究しています。

皮膚への影響については、美容分

野になります。例えば顔の皮膚に対し、直接顔面部への刺鍼は出血のリスクが少なからずあります。局所刺激ではなく四肢や頭皮など、遠隔部からの鍼刺激を行った場合に顔面部の皮膚にどのような影響を及ぼすかについて、キュートメーターを用い、皮膚の弾力性や発汗量、脂質の分量という3つの指標で分析を行っておりですが、それ以外のプローブについてもさらに検討しているところです。

家族との時間はどのように

過ごされていますか

小学生の子どもが2人いるので、子供中心の余暇の過ごし方になりますが、休日は朝早くから釣りに出か



けたりします。夫も鍼灸師として開業しており、週末は私自身も夫の施術所で臨床を行っています。平日の学校行事の参加は、夫が手伝ってくれますので、とても助かってます。時々、鍼灸治療してもらえなかったので、健康的に仕事を続けることができ、とてもありがたいです。

学生に対して思うこと

鍼灸を含め、医療業界は生涯学び続ける必要がある世界ですが、昨今はインターネットの普及により、患者さまやその家族が病気や治療についての情報を詳しく調べていることがよくあります。学生の時に学んだ知識だけでは、様々な症状に対応できませんので、生涯学び続ける必要があります。そのための方法や学び方を学生時代にしっかりと身に付けてほしいです。今の時代にあるツールをうまく生かして、社会で活躍してほしいと思います。

業界に対してのコメント

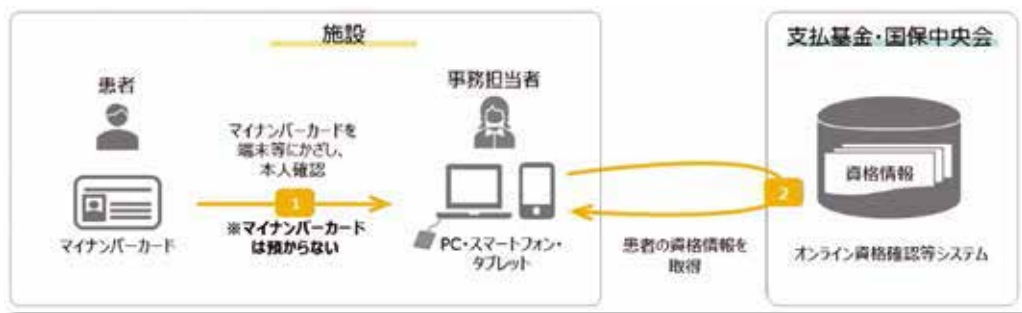
業界全体については、業界団体と関わるのが少ないのでわからないこともありますが、一般的に開業されている施術者について思うことは、



例えば通常医療でも対応が難しい神経難病等の症例に対して、WEBでホームページを検索すると、過剰に効果を期待させるような情報が掲載されているケースが散見されるように思います。今は、論文検索も容易になりましたし、患者さまご自身でも情報を調べられる状況になっていきます。現代医療の診療ガイドラインや鍼灸治療のエビデンスについても年々情報がアップデートされていますので、常に最新の情報を取得して、日頃の臨床を行っていただければと思います。

令和6年4月から、施術所等において「マイナンバーカード」の オンライン資格確認（資格確認限定型）が利用できるようになります

令和6年12月2日に健康保険証が廃止され、マイナンバーカードに一体化されます。健康保険証の廃止後は、医療機関と同様にマイナンバーカードを用いて資格確認を行います。鍼灸マッサージ施術所においては、ポータルサイトに事前申請が必要です。実際に資格確認用で使用するPCやスマートフォン、タブレットを申請・登録し、専用のアプリ（マイナ資格確認アプリ）をインストール。必要に応じて汎用カードリーダーと組み合わせることにより、**マイナンバーカードを読み取って、オンラインで資格情報のみを確認できる**ようになります。（患者の診療情報等は取得しません）



お問い合わせ先

● オンライン資格確認等コールセンター 0800-080-4583（通話料無料）

月曜日～金曜日（祝日を除く）8:00～18:00 土曜日（祝日を除く）8:00～16:00

メールアドレス：contact@iryohokenjyoho-portalsite.jp

施術所等向け総合ポータルサイト



◆ 周産期ケア講座 令和6年3月の予定

主催：大阪府東洋療法協同組合

■ 日時 令和6年3月10日 日

■ 第1講座 13:00～14:30 2単位

産後ケアの基礎、お灸・マッサージの活用

直原ウイメンズクリニック勤務/みちるべマッサージはり灸室
助産師・鍼灸マッサージ師 石坂 美智子さん

■ 第2講座 14:40～16:10 2単位

東洋医学における女性の冷えと浮腫みの対処法

女性鍼灸師フォーラム 代表
せりえ鍼灸室 辻内 敬子さん

■ 会場 大阪府鍼灸マッサージ会館3階大ホール

■ 受講料 会員・学生 3,000円、一般 5,000円

※ 会場とオンラインのハイブリッド開催です
終了後、一定期間アーカイブ配信あります

■ お問い合わせ 大阪府鍼灸マッサージ師会事務局

TEL 06-6624-3331

メール seminar@osmk.osaka.jp

申込サイト⇒



◆ 生涯研修会 令和6年3月の予定

主催：大阪府鍼灸マッサージ師会

■ 日時 令和6年3月17日 日

■ 第1講座 12:30～14:00 2単位

更年期障害の治療と日常生活の注意

大阪府医師会 理事
笠原医院 婦人科 院長 笠原 幹司さん

■ 第2講座 14:10～15:40 2単位

鍼灸マッサージのフェムテックケア

関西医療大学
フェムテック寄附講座 特任教授 菅 万希子さん

■ 会場 大阪府鍼灸マッサージ会館3階大ホール

■ 受講料 会員 1,000円、一般 2,000円、学生無料

※ 会場とオンラインのハイブリッド開催です
アーカイブ配信はありません

■ お問い合わせ 大阪府鍼灸マッサージ師会事務局

TEL 06-6624-3331

メール seminar@osmk.osaka.jp

申込サイト⇒



大阪府東洋療法協同組合

大阪府鍼灸マッサージ師会員の研修・経営をサポート

● 鍼灸マッサージ師の専門領域セミナー

● 使いやすい無料レセプトシステム



トリガーポイント鍼療法、周産期ケア講座等、各種専門領域セミナーの開催



PC、タブレット端末、スマホでも入力OK



- 制度改正に素早く対応 クラウド型レセプトシステム
- ホームページ・名刺作成
- 医療衛生材料の共同購買
- 組合員の福利厚生

〒545-0011
大阪市阿倍野区昭和町2丁目10番5号
大阪府鍼灸マッサージ会館2F

TEL 06-6624-3332

URL <https://otrk.osaka.jp>



発行日 2024年2月1日 発行人 廣野敏明 編集・発行所 公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会総務部

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町2-10-5 (大阪府鍼灸マッサージ会館) TEL 06-6624-3331 FAX 06-6624-5141